



## 神戸大学学友会ニュースレター

いつも学友会の活動にご支援ご協力いただきありがとうございます。

### — インフォメーション —

#### 【1】トピックス

- (1) 「新型コロナウイルス感染症対策緊急募金」について  
—学長からの緊急メッセージ—
- (2) デトロイト支部同窓会報告

#### 【2】お知らせ

- (1) 神戸オックスフォード日本学プログラム (KOJSP) 8期生の修了式を開催
- (2) ValueSchool 設立記念式典を開催

#### 【3】研究ニュース

- (1) 「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対する経口ワクチンの開発」がAMEDに採択
- (2) 難防除害虫のナミハダニの薬剤感受性を決定するGABA受容体の一次構造を解明
- (3) 毎日のスキンケア動作習慣が心拍自律神経活動や皮膚状態に影響する可能性を確認
- (4) ピングイオ藻の集光性色素タンパク質の特性解明：  
アルカリ pH で誘導される太陽光エネルギー利用機構を明らかに
- (5) 近畿地方に活火山がなく有馬温泉が湧く原因を解明
- (6) アルギニンメチル化酵素が正常な脳の発達を促す  
～脳におけるタンパク質のメチル化の新しい意義を発見～

#### 【4】受賞

- (1) 附属中等教育学校の生徒が「令和2年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」にて文部科学大臣賞を受賞

#### 【1】トピックス

- (1) 「新型コロナウイルス感染症対策緊急募金」について  
—学長からの緊急メッセージ—

引き続き皆様からのあたたかいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

○詳細は、こちらをご覧ください。

(<https://www.kobe-u.ac.jp/info/kikin/index.html>)

## (2) デトロイト支部同窓会報告

日時：2020年8月23日（日）午後5時

場所：山田邸（Beverly Hills, Michigan）

大統領選挙まで2ヶ月余りを残すだけの米国ですが、Black Lives Matterの運動から、太平洋北西部のオレゴン州 Portland やワシントン州 Seattle では、過激派が市街の一角を占拠し続け、軍隊が出動するなど不穏な動きが続き、カリフォルニア州では毎年恒例の山火事が広がり、南部のルイジアナ州はこれも恒例のハリケーンが接近するという、話題に事欠かないものの、ミシガン州は大きな自然災害の起きない地域で、暴動もなく、マスク着用など、知事の指示を遵守する市民が多いせいか、不要不急の旅行は控えられ、結果的にコロナ菌の感染率は米国内では非常に低い州の一つになっています。レストランは人数制限のなか、屋外での席を増やして、一部再開していますが、活気はあまりありません。

通常は非常に涼しい Detroit の夏も、南部でハリケーンが近づく時期はさすがに少し蒸し暑くなりますが、日本の湿度とは雲泥の差があります。当地の会員もそのような中、旅行の機会はなく、家族を含む8人が集まってBBQを囲む夕食会を開き、歓談しながら、日が沈んでいく中、焚き火を囲み、飛び交う蛍の光を眺めて、閉会しました。

卒業生・現役生・留学生を問わず、Detroit を訪問される機会がありましたら、大歓迎いたしますので、ぜひご連絡ください。

参加者：

山田 守（1982 経営）

Olga Yamada（山田夫人）

浜岡 栄司（1986 工）

浜岡 利恵（浜岡氏夫人）

瀬川 恵（1993 教育）

Dana Ohl（瀬川氏友人）

榎本 守彦（1994 経済）

Denys Lazarev（山田継子）

（山田記）

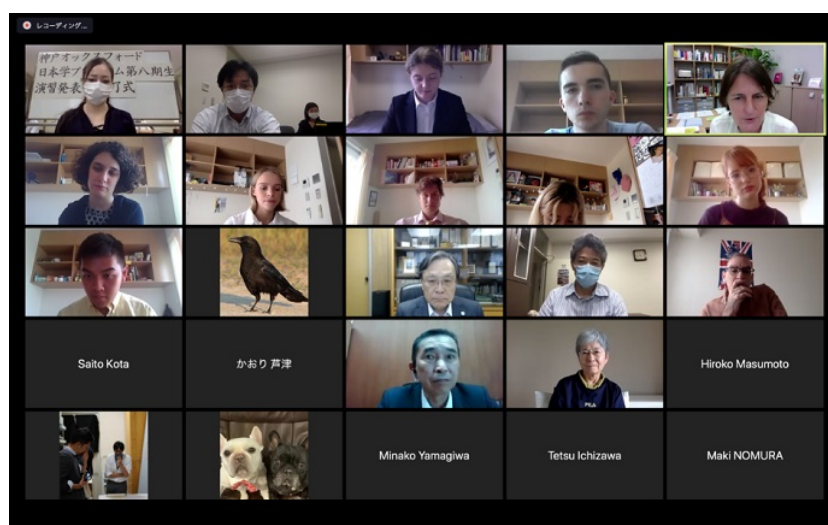


## 【2】お知らせ

### (1) 神戸オックスフォード日本学プログラム (KOJSP) 8期生の修了式を開催

8月3日、神戸オックスフォード日本学プログラム (KOJSP) 8期生の演習発表会と修了式をオンラインで開催しました。

オックスフォード大学東洋学部で日本学を専攻する学部2年生は、毎年神戸に滞在し、神戸大学において1年間 KOJSP を受講することになっています。第8期生は昨年2019年の9月末に来日して以来、授業やその他の機会を通じて日本語の技量を磨き、日本の政治や文化、社会に関する理解を少しずつ深めてきました。今回の発表会はおおよそ10ヶ月にわたる日本滞在の総決算とも言えるもので、KOJSP 生の日本での最後の晴れ舞台ということになります。残念ながら、当初予定していた会場での開催は叶いませんでしたが、インターネット会議システムを用いて無事にオンラインで開催することができました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

([https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2020\\_09\\_03\\_01.html](https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2020_09_03_01.html))

### (2) ValueSchool 設立記念式典を開催

V. School の設立を記念して、9月7日に「バリュースクール設立記念式典」を神戸大学百年記念館（神大会館）六甲ホールにて実施しました。式典には、4名の来賓の方（株式会社日本 M&A センター代表取締役社長三宅 卓様、株式会社スマートバリュー代表取締役社長渋谷 順様、株式会社パソナグループ代表取締役グループ代表南部 靖之様、神戸信用金庫理事長西多 弘行様）をお迎えし、新型コロナウイルスの状況を鑑み、会場と Zoom によるオンラインでの実施を併用するとともに、学生や一般の方に向けて Youtube Live による配信を実施いたしました。会場には、武田学長をはじめ 50 名の方に出席いただき、Zoom では 109 名、YouTube Live では 120 名の方にご参加いただきました。



○詳細は、こちらをご覧ください。

([https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2020\\_09\\_09\\_01.html](https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/info/2020_09_09_01.html))

### 【3】研究ニュース

- (1) 「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対する経口ワクチンの開発」が AMED に採択

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科の白川 利朗教授を研究開発代表とするグループによる「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対する経口ワクチンの開発」が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対するワクチン開発」に採択されました。

○詳細は、こちらをご覧ください。

([https://www.kobe-u.ac.jp/research\\_at\\_kobe/NEWS/award/2020\\_09\\_10\\_01.html](https://www.kobe-u.ac.jp/research_at_kobe/NEWS/award/2020_09_10_01.html))

- (2) 難防除害虫のナミハダニの薬剤感受性を決定する GABA 受容体の一次構造を解明

神戸大学大学院農学研究科竹田 真木生名誉教授、日本化薬株式会社小林 武 研究員、東京農工大学大学院農学研究院鈴木 丈詞准教授、OAT アグリオ株式会社の林 直孝リーダーおよび近畿大学農学部松田 一彦教授らの共同研究グループは、難防除害虫であるナミハダニの薬剤感受性を決定する  $\gamma$ -アミノ酪酸 (GABA) 受容体の一次構造を特定しました。

今後は、ナミハダニの GABA 受容体を標的とする薬剤スクリーニングへの展開が期待でき、人畜に無害で安全性に優れた農薬創出に資すると考えられます。

○詳細は、こちらをご覧ください。

([https://www.kobe-u.ac.jp/research\\_at\\_kobe/NEWS/news/2020\\_09\\_10\\_02.html](https://www.kobe-u.ac.jp/research_at_kobe/NEWS/news/2020_09_10_02.html))

- (3) 毎日のスキンケア動作習慣が心拍自律神経活動や皮膚状態に影響する可能性を確認

花王株式会社 (社長・澤田道隆) スキンケア研究所・感覚科学研究所は、神戸大学大学院システム情報学研究科上原 邦昭名誉教授 (現大阪学院大学) との共同研究によって、毎日のスキンケア動作習慣が心拍自律神経活動や皮膚状態に影響する可能性を見出しました。

○詳細は、こちらをご覧ください。

([https://www.kobe-u.ac.jp/research\\_at\\_kobe/NEWS/collaborations/2020\\_09\\_14\\_01.html](https://www.kobe-u.ac.jp/research_at_kobe/NEWS/collaborations/2020_09_14_01.html))

- (4) プンギイオ藻の集光性色素タンパク質の特性解明：

アルカリ pH で誘導される太陽光エネルギー利用機構を明らかに

岡山大学異分野基礎科学研究所長尾 遼特任講師と神戸大学大学院理学研究科秋本 誠志准教授らの共同研究グループは、時間分解蛍光分光法を用いて海産性プンギイオ藻の集光性色素タンパク質の溶液 pH に依存する励起エネルギー伝達機構の解析に成功しました。この結果から、プンギイオ藻の集光性色素タンパク質は、特にアルカリ pH により励起エネルギー伝達を変化させ、エネルギー消光が起こることが明らかになりました。

○詳細は、こちらをご覧ください。

([https://www.kobe-u.ac.jp/research\\_at\\_kobe/NEWS/news/2020\\_09\\_14\\_03.html](https://www.kobe-u.ac.jp/research_at_kobe/NEWS/news/2020_09_14_03.html))

#### (5) 近畿地方に活火山がなく有馬温泉が湧く原因を解明

111 の活火山が点在する火山大国日本にあつて、フィリピン海プレートが沈み込む西日本では、九州には 10 以上の活火山が密集するにもかかわらず、中国・近畿地方には活火山は 2 つしかありません。また近畿地方には活火山は存在しない一方で、有馬には高温の温泉が湧出します。神戸大学海洋底探査センター、大学院理学研究科、都市安全研究センターでは、防災科学技術研究所と共同でこれらの謎を統一的に解くために、過去のプレート運動の再現とプレートの沈み込みに伴う熱現象について解析を行いました。

その結果、九州の地下には古くて冷たいプレートが、中国・近畿地方では若くて熱いプレートが沈み込み、近畿地方では有馬の直下でプレートから高温流体が放出されて温泉となっていること、またその結果プレート内部の水が減少して火山活動を起こすことができないことが分かりました。一方九州では、プレート内の水が全てマグマを発生させるために使われており、多量のマグマが作られるため火山が密集していると考えられます。

○詳細は、こちらをご覧ください。

([https://www.kobe-u.ac.jp/research\\_at\\_kobe/NEWS/news/2020\\_09\\_14\\_02.html](https://www.kobe-u.ac.jp/research_at_kobe/NEWS/news/2020_09_14_02.html))

#### (6) アルギニンメチル化酵素が正常な脳の発達を促す

～脳におけるタンパク質のメチル化の新しい意義を発見～

国立大学法人筑波大学生存ダイナミクス研究センター (TARA) 深水 昭吉教授、橋本 美涼博士 (現 国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学応用生物科学部助教) の研究グループは、マウスを使った解析により、発達中の脳において、生合成されたタンパク質に生じる様々な化学修飾 (翻訳後修飾) の一つである「アルギニンメチル化」が炎症状態の誘導に関与することを見出しました。

神戸大学からは、大学院医学研究科細胞生理学分野遠藤 光晴講師、南 康博教授が、脳損傷による脳内炎症マウスモデルを用いた PRMT1 の発現解析において本成果に貢献しています。

○詳細は、こちらをご覧ください。

([https://www.kobe-u.ac.jp/research\\_at\\_kobe/NEWS/news/2020\\_09\\_16\\_01.html](https://www.kobe-u.ac.jp/research_at_kobe/NEWS/news/2020_09_16_01.html))

### 【4】受賞

#### (1) 附属中等教育学校の生徒が「令和 2 年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」にて文部科学大臣賞を受賞

文部科学省と国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) は、令和 2 年度スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 生徒研究発表会を、オンラインで 8 月 7 日 (金曜日) ~ 8 月 28 日 (金曜日) に開催しました。(文部科学省 HP より)

本研究発表会において、神戸大学附属中等教育学校が文部科学大臣表彰を受賞しました。

オンライン開催となった本年度の発表会は、全国のスーパーサイエンスハイスクールに指定されている学校から 222 校が参加しました。6 つの研究分野に分かれてポスター発表の審査を受け、その中で各分野から 1 校ずつの計 6 校が口頭発表での最終審査に進出しました。

附属中等教育学校では 6 年生（高等学校 3 年生相当）の中山 和奏さんが、研究題目「チョウの翅の撥水性と微細構造の関係—水接触角・滑落角の観点から—」を代表として発表しました。審査の結果、「生物（動物・医学）」分野代表として最終審査に進出、最も優秀な学校 1 校に与えられる文部科学大臣賞を受賞しました。また、これに加えて同時に生徒投票賞（18 校）も受賞しました。



### ★「KU-Net」からのお知らせ

「神戸大学コミュニティネットワーク (KU-Net)」に在学生の登録が増えてきています。ネットワークを通じて卒業生と在学生が連絡を取り合える機能を有していますので、卒業生のみならず、奮って登録をお願いいたします。

登録いただく折、又は登録内容の更新の際に「OB・OG 訪問」受付可能とすることにより在学生との交流が可能となります。

在学生にとって、先輩である卒業生の皆様との接点はとても貴重なものです。もし、OB・OG 訪問を受けていただける方は、KU-Net ログイン後、利用設定の「OB・OG 訪問を受ける」にチェックし、保存すると設定完了となります。

詳しくは、神戸大学コミュニティネットワークホームページ

(<http://www.kobe-u.ac.jp/alumni/KU-Net/>) でお知らせしています。

### ★学友会ホームページ移転のお知らせ。

旧 : <https://www.kobe-u.com/alumni/>

↓

新 : <http://www.group.kobe-u.ac.jp/gakuyukai/>

### ■支部所属の会員の皆様にもお知らせください

神戸大学学友会事務局

657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学企画部卒業生・基金課内

TEL 078-803-5042 FAX 078-803-5024

E-mail: [plan-gakuyukai@office.kobe-u.ac.jp](mailto:plan-gakuyukai@office.kobe-u.ac.jp)